

3月の星空

三寒四温という言葉の通り寒い日・暖かい日が交互に来ていて春がそこまで、近付いている事が感じられる3月に入りました、それと同時に花粉症の人にとっては辛い日が暫く続いてしまいますがそれぞれが我慢の時期ですね。

関東では3月の20日前後から桜の開花も予想されており、花見も名所ばかりでは無く地元の公園にでも行き家族と手作り弁当でも食べながら楽しんでみてはどうでしょうか。

さて、3月の天文現象としては。(大体は関東を基準に数字を出しています。)

*9日の部分日食

午前10時過ぎ位からかけ始め、最も大きく欠けて見えるのが11時8分、終るのが12時5分頃になります、大体ですが最大に欠けて見えるのは太陽表面積の15%程ですので、はっきりと欠けた姿を楽しめるはずです。

観望にはサングラスや墨で黒くした硝子等はNGです、簡単ですが直接視をしないで観望出来る方法を伝授。一枚の紙にピンホールの穴を開け地面に太陽の姿を映して見てください、欠けている姿の像が地面に投影されています。

*17日(彼岸の入り)・20日(春分の日)

この頃から徐々に厳しい寒さから春のほんわかした陽気になって来るんでしょうね、因みに東京の桜開花予報が3月21日前後なので3月の終わりには花見が出来そうですね。

2016年3月9日 部分食 (東京での見え方)

食の始め
10時12分11秒

食の最大
11時08分27秒

食の終わり
12時05分21秒

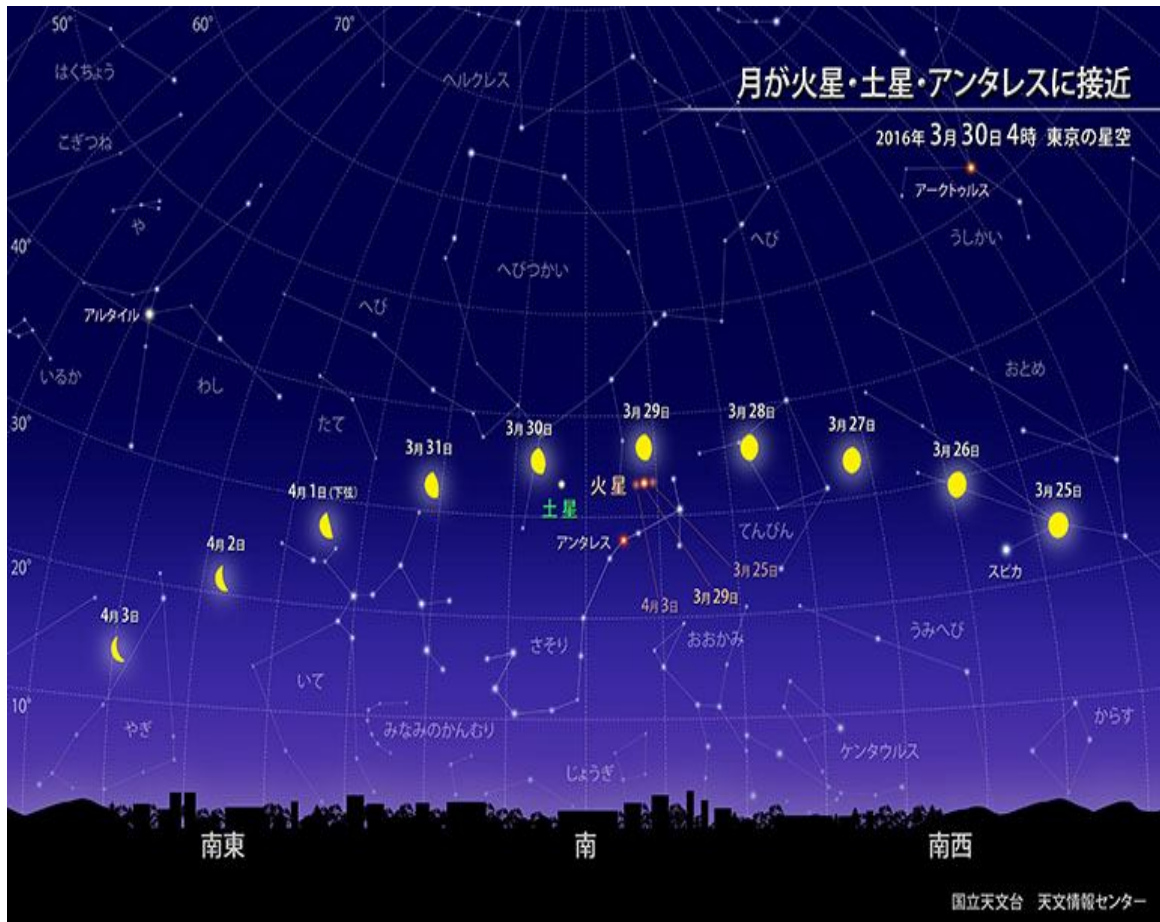
!!危険!! 太陽を直接見てはいけません

太陽は、たいへん強い光と熱を出しています。
肉眼で直接太陽を見ると、たとえ短い時間であっても目を痛めてしまいます。
安全な方法で観察しなければ、最悪の場合失明する危険性があります。

南東

南

南西

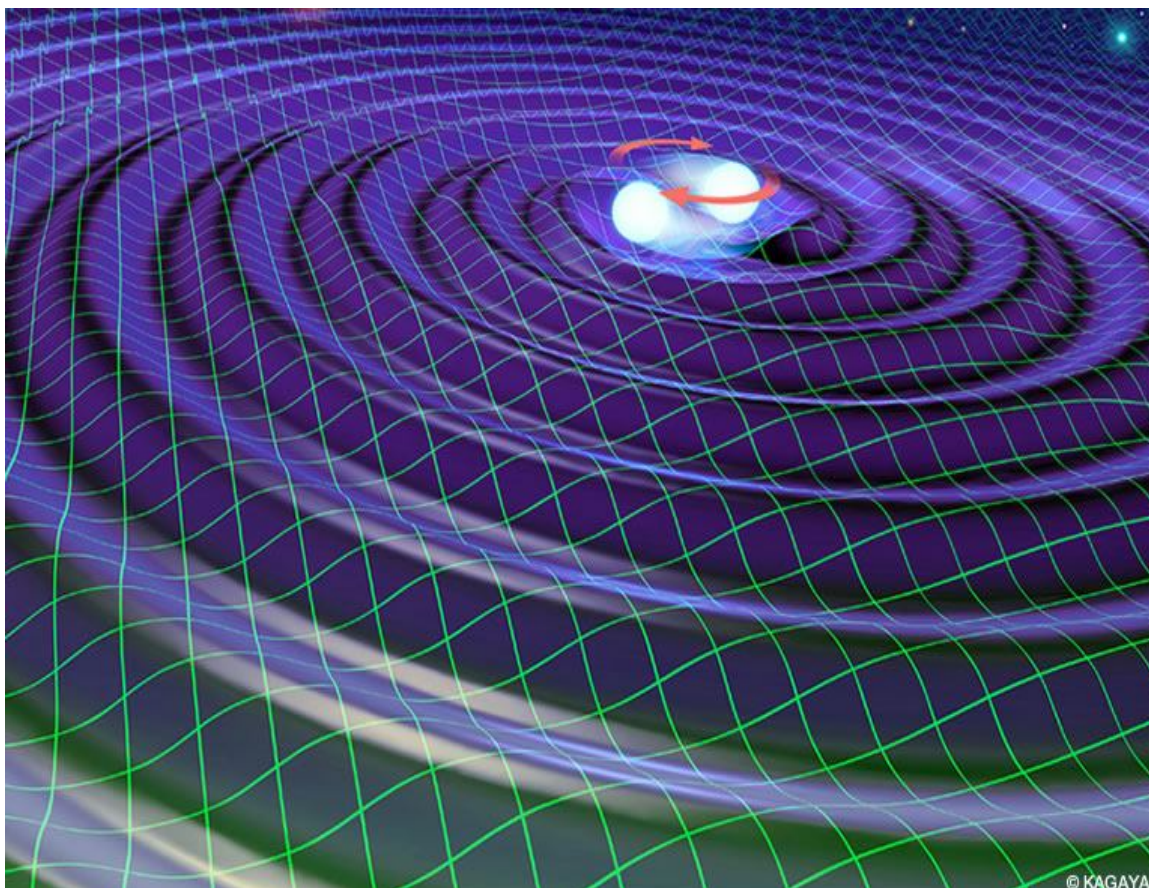


最近宇宙に関するニュースが多く報道されていますね。
 火星に人類が行く為の実験、新型ロケットの打ち上げ、大型観測装置の稼働等々、枚挙に暇がありませんが、中でも、**重力波**を観測装置で検出出来たと云うとんでもないビッグニュースが先月飛び込んできました、難しすぎて何が分かるのかも分かりませんが、とにかく今まで見えなかった物が観測出来る様になったようです、太古の人類が星を見つめ始めた時が第一（可視光による）その後数百万年たった19世紀に電波望遠鏡（X線観測）これにより光だけでは覗けない場所の観測等、不思議な宇宙がかなり分って来て飛躍的に天文学が向上したのです、しかしそれでもブラックホールの形成過程、宇宙誕生の瞬間等分らない事ばかりでしたが、重力波望遠鏡が出来て精度の高い装置の完成度が高まれば、尚いっそう宇宙の謎解明へと進んで行くと思います。
 （しかし、これまで謎だった事が一つ解明されると10の新しい謎が出て来たので又謎が増えるかも知れませんね。）

今回重力波を測定できたのはアメリカの LIGO 重力波望遠鏡おそらく此処の研究者達にはノーベル賞が授与されるでしょう。

しかし世界には同じ様な性能を持った重力望遠鏡がヨーロッパと (VIRGO)、日本 (KAGRA) にも有ります、日本のカグラは3月より試験運転を始め来年より本稼動を始めるそうです。

光学望遠鏡・電波望遠鏡の様に世界中の学者さん達が連携して天文学の発展の為に動いた様に垣根を越えて進んでいてもらいたいものです。



上図は2つのブラックホールによって出来た重力波のイメージです。